

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安の上値圧迫が続く

NY原油先物相場は、1バレル=73.93ドルまで値下がりして3月31日以来の安値を更新した後、76ドル台後半まで急反発する荒れた展開になった。需要不安の織り込みがみられ、4月2日に石油輸出国機構（OPEC）プラス参加国が日量115.7万バレルの追加減産を実施すると発表した後の最安値を更新した。チャートのギャップ（窓）が穴埋めされている。一方で、5月にはOPECプラスの追加減産が始まることもあり、70ドル台前半に対しては下げ過ぎとの見方も強く、週末・月末を前に安値からは大きく切り返す展開になった。

需要不安を背景とした安値更新は続いている。何か明確な根拠がある訳ではないが、世界経済の成長が十分に進まず、資源需要の伸びが抑制されるリスクが警戒されている。原油以外に鉄鉱石や石炭、非鉄金属相場なども大きく値を崩している。米銀ファースト・リパブリック銀行の経営破たんへの恐れ、米債務上限引き上げ問題なども、原油相場の上値圧迫要因になった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（4月21日時点）は、原油が前週比505万バレル減、ガソリンが241万バレル減、石油精製品が58万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安が上値圧迫もOPECプラスの減産開始、ボックス相場か

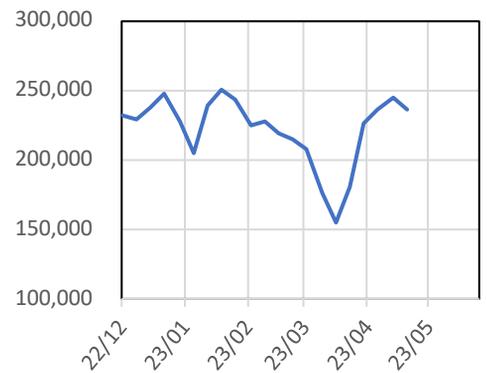
世界経済の減速懸念が浮上する中、原油相場の先高感の後退している。月初とあって5月1日に4月米ISM製造業指数、4日に4月中国財新製造業PMIなどが発表されるが、景気リスクが維持されると80ドル前半が上値抵抗になり、先高感は乏しい状態が続くことになる。他の産業用素材市況が改めて値を崩すと、原油相場も下振れリスクが高まる。

一方で、5月からOPECプラスは大規模な追加減産に踏み切る見通しになっている。また、行楽シーズンを迎えていることで、ガソリンやジェット燃料などの輸送用エネルギー需要は底固く推移する見通しであり、米原油・ガソリン在庫も抑制された状態が続く見通し。このため、70ドル前半では値ごろ買いが下値を支えよう。

結果的に70ドル前半で押し目買い、80ドル前半で戻り売りが優勢になり易く、明確なトレンド形成は難しいだろう。需要リスクが重視されると買われ、供給リスクが重視されると売られる展開になるが、決定打を欠き易い。中期的な見通しとしては、中国などの需要拡大が進む一方で、OPECプラスの減産対応を受けて、年後半に向けて需給が引き締められ、価格が上昇するリスクが高い状態に変化は見られない。しかし、短期目線では上下双方に決定打を欠いており、ボックス相場を前提とした売買環境になろう。

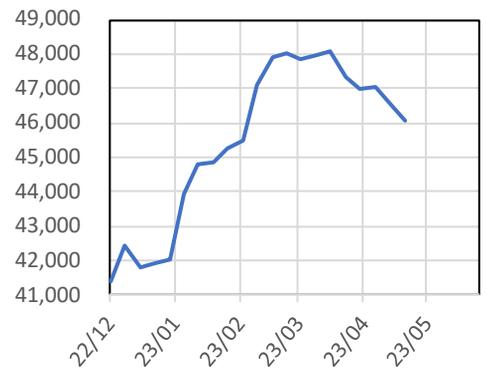
5月2～3日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.25%の追加利上げが確実視されているが、利上げ終了の織り込みが更に進むか否かが注目される。同会合の評価によって米金利・ドル相場の環境は大きく変わる可能性があるだけに、イベントリスクとして注意が求められる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



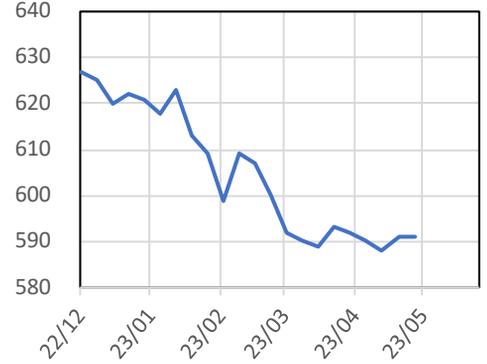
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

